

平成25年度



上京区運営方針



平成25年4月

京都市上京区役所

目次

1	上京区長からのメッセージ	2
2	平成25年度上京区運営方針について	3
3	上京区運営方針の総括表	4
4	重点取組の概要	6
5	その他の重要取組	14
6	予算のポイント	15
7	平成25年度の主な事業	16

<表紙の写真>

(上) 区旗と「かみぎゅうくん」

(左下) 上京区総合防災訓練

(右下) 上京の子どもまつり



上京区マスコットキャラクター
「かみぎゅうくん」

1 上京区長からのメッセージ

上京区は、平安京以来の長い歴史と伝統を受け継ぎ、古き良き伝統のうえに先駆的な試みを積み重ねて、絶えず新しい文化や産業を創造する伝統と文化の薫り高いまちであるとともに、住民の自治が発達し、現在も学区ごとにそれぞれ個性的な自治活動が展開されているまちでもあります。

このようなまちの歴史と伝統を継承し、区の更なる発展を目指した歩みを今後も継続して進めていかなければなりません。

上京区では、多くの区民の皆様の英知と上京を愛する心によって、平成23年1月に上京区基本計画を策定いたしました。ここでは、上京区が直面する「まちづくりの基本課題」を踏まえて、「自治と地域力」「まちの安全・安心」「福祉と健康」「地域振興」「環境」という5つのテーマを設けてまちの将来像を設定しております。

この素晴らしい上京区基本計画を着実に進めていくため、この1年間に重点的に取り組むべき施策をまとめたものが「平成25年度上京区運営方針」であり、上京区まちづくり円卓会議（自治・安全部会、福祉・健康部会、魅力発信部会、くらし・環境部会）及び上京区基本計画推進委員会の委員の皆様、評価・審議をいただいた結果を反映しております。

特に、昨年度に創設された、住民によるまちづくりや地域課題の解決を区役所が柔軟かつスピーディーにしっかりと支えていく協働の仕組みである「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」を最大限に生かし、区民の皆様の自発的で主体的なまちづくり活動を支援する「上京区民まちづくり活動支援事業」をはじめとした区民の皆様と区役所が共汗して取り組む事業の一層の推進を図ってまいります。

まちづくりの将来像である「絆で織りなす住みよいまち上京」をめざし、歴史と伝統を生かしたにぎわいと活力のあるまちを区民の皆様と共に築いて参りたいと考えておりますので、区民の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年4月



上京区長 豊田博一

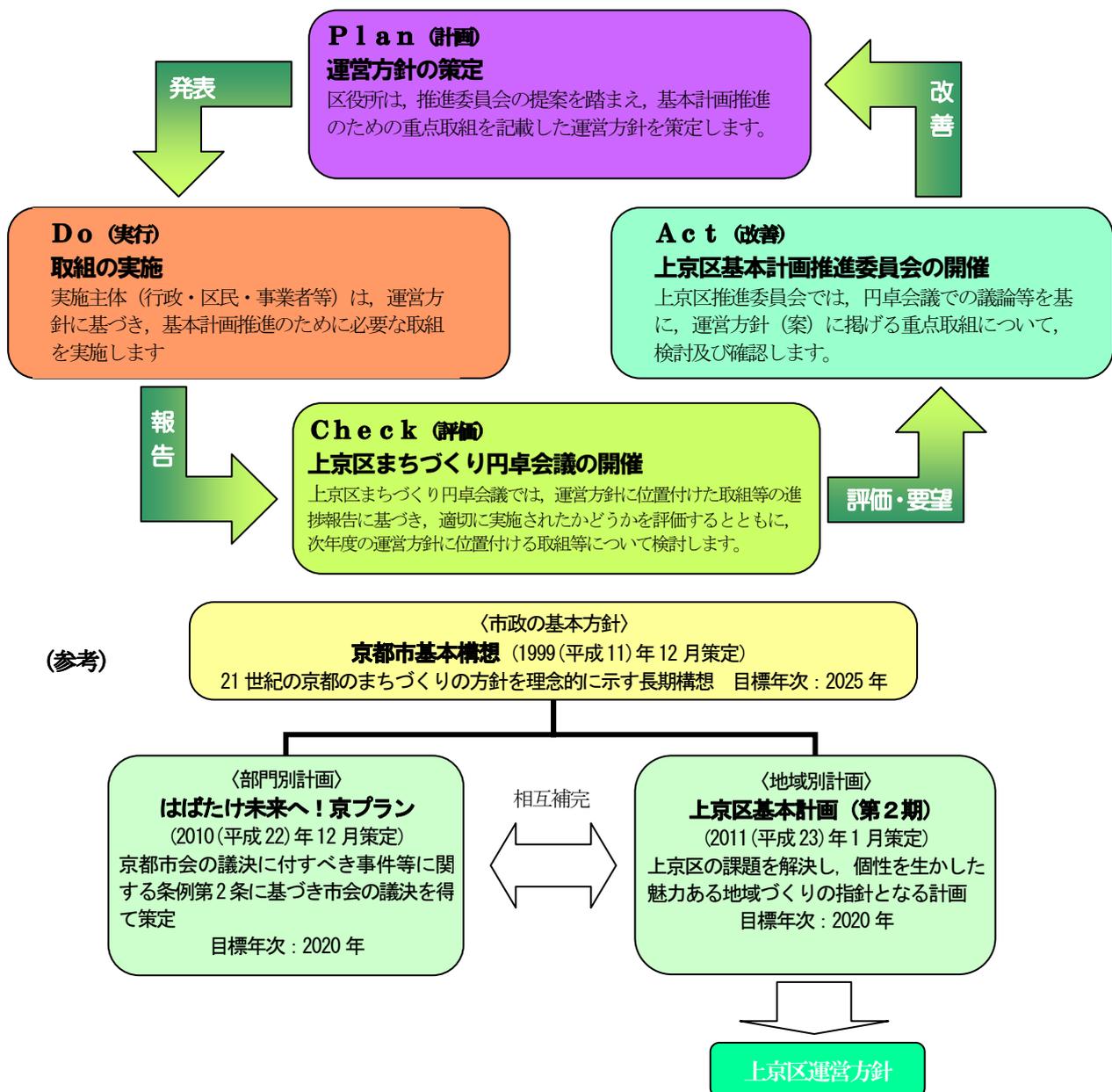
2 平成25年度上京区運営方針について

上京区運営方針の位置付け

平成22年12月に策定された京都市基本計画である「はばたけ未来へ！京^{みやこ}プラン」を受けて、同年に上京区基本計画を策定しました。この上京区基本計画は京都市基本計画と同列の関係であり、また、京都市の基本計画を補完するものと位置づけられています。

この上京区基本計画を着実に推進していくため、社会情勢の変化や区独自の課題等を踏まえて、特に重点的に取り組むべき事項を明確にしたものが「上京区運営方針」です。

今年度は、平成25年2月に開催された上京区まちづくり円卓会議で評価・検討をしていただき、また同年3月に開催された上京区基本計画推進委員会で審議いただいた結果、上京区民まちづくり活動支援事業を中心に、従来の重点課題を再編し新たな重点課題を追加して取り組むこととします。



3 上京区運営方針の総括表

基本方針・重点方針	平成25年度重点取組			平成24年度重点取組	
	取組名	目標	所属等	取組名	実績
基本計画の推進	1 上京区民まちづくり活動支援事業	上京区民まちづくり活動支援事業の普及により、区民自らがまちづくりの課題に取り組む風土を醸成する	全ての所属	区民提案型支援事業の推進	17件の申請に対し、12件を支援対象として決定
多様な住民が地域活動を担うまち	2 上京ふれあいネット「カミング」活用事業	カミングの充実…情報提供等の協力を得るシステムを構築することにより、多くの方に役立つコンテンツを作成する	地域力推進室総務・防災担当	上京ふれあいネット事業	学生レポーターの取材によるお役立ち情報やイベント情報の新設
		若い人たちが繋がる「絆」事業…「カミング」を中心にして、交流イベントを企画する	地域力推進室総務・防災担当	—————	平成25年度新規事業
	3 上京区総合庁舎整備の推進	新庁舎の建設工事、仮庁舎の移転先等の周知	地域力推進室総務・防災担当、文化市民局	上京区総合庁舎整備の推進	仮庁舎への移転を完了 新庁舎の実施設計を完了
住民が守る安心・安全のまち	4 烏丸今出川自転車対策プロジェクト事業	烏丸今出川自転車駐車場設置後の状況把握と、それに対する取組の実施	地域力推進室まちづくり推進担当	烏丸今出川自転車対策プロジェクト外事業	啓発ポスター等の掲示台を設置。自転車放置防止活動の実施
	5 地域での災害時に備えた安心・安全の確保	災害対策プロジェクトチームによる「避難所運営マニュアル」の作成とそれに基づく訓練の実施	地域力推進室総務・防災担当	地域での災害時に備えた安心・安全の確保	防災連続講座の実施、「避難所運営マニュアル」策定についての説明会、検討会、検証訓練の実施
	6 みんなで空き家対策を考えよう事業	地域と協働して空き家の実態把握を行う	地域力推進室まちづくり推進担当	—————	平成25年度新規事業
	7 京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業	烏丸通の横断歩道部やバス停部(11箇所)について実施	建設局	京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業	烏丸中立売、烏丸上長者の交差点の歩道部について実施
ともに喜び、支え合うまち	8 高齢者、障害のある方等支援を要する方の孤立を防ぐための地域コミュニティの構築	要支援者の方の支援方法についての具体的な検討、講座や交流会を通じた地域の方一人ひとりの顔が見える関係づくり、専門知識を習得のための研修会の実施	福祉部支援保護課	高齢者、障害のある方等支援を要する方の孤立を防ぐための地域コミュニティの構築	ふくしをなんでもしつとこ講座を開催(3回) 上京すこやかサポート研修会の実施(2回)
	9 子育て支援・育児不安の軽減	「赤ちゃんお祝い訪問プロジェクト～上京えんじえる応援団事業」の充実 上京えんじえる応援団すくすくステッカーで子育て支援…協力者・協賛店舗の拡充、子育てシンポジウムの開催、「上京えんじえる応援BOOK」充実	福祉部支援保護課 福祉部支援保護課	子育て支援・育児不安の軽減 子育て支援・育児不安の軽減	こんにちは赤ちゃん訪問者数501件、主任児童館による赤ちゃんお祝い訪問(155件) 協賛店舗・協力者募集(142件)、えんじえるカードの配布(8,800人)

基本方針・ 重点方針	平成25年度重点取組			平成24年度重点取組		
	取組名	目標	所属等	取組名	実績	
ともに喜び、 支え合うまち	10	妊娠期からの子育て支援(児童虐待の未然防止)	母子健康手帳交付時の面接相談, 初妊婦への全戸家庭訪問, こんにちは赤ちゃん訪問, 乳児交流会等の実施	保健部健康づくり推進課	妊娠期からの子育て支援(児童虐待の未然防止)	母子健康手帳交付時の面接相談 581 件, 初妊婦等への家庭訪問 155 件など
	11	若い頃からの健康づくりの推進	大学と協働した健康づくりの推進	保健部健康づくり推進課, 衛生課	若い頃からの健康づくりの推進	大学祭でのブースの協働開設等
			若い世代への生活習慣病予防の支援	保健部健康づくり推進課, 衛生課	若い世代への生活習慣病予防の支援	わかりやすい健康づくり情報や事業紹介の実施
	12	食の安全・安心の確保と食育の推進	監視指導, 衛生講習会の開催, 地域イベント等での管理指導の実施, 食育指導員の育成	保健部衛生課, 健康づくり推進課	食の安全・安心の確保と食育の推進	監視指導 2059 件, 食品衛生講習会受講者 1046 名, 食育指導員の育成支援
	13	「子育て家族編 災害対策ミニブック」の普及啓発	24 年度に作成したパンフレットを活用し, 普及啓発を行うことで, 安心して暮らせる地域づくりを目指す	保健部健康づくり推進課	—————	平成 25 年度新規事業
14	上京区学生パワーを生かした福祉と健康のまちづくり	同志社大学と協働して, 学生たちの企画による福祉と健康のまちづくりを推進する	福祉部支援保護課	—————	平成 25 年度新規事業	
文化と伝統を生かした賑わいのまち	15	観光ボランティア(上京の語り部)の養成とまち歩きシナリオを活用したツアーの実施	「京・上京探訪」を活用したまち歩きの実施, 市民と協働した魅力あるまち歩きコースの創出	地域力推進室総務・防災担当	観光ボランティア(上京の語り部)の養成とまち歩きシナリオを活用したツアーの実施	出町, 聚楽第をテーマにしたまち歩きの実施
			カミングの充実(再掲)	地域力推進室総務・防災担当	上京ふれあいネット事業	学生レポーターの取材によるお役立ち情報やイベント情報の新設
	16	上京ふれあいネット「カミング」活用事業	若い人たちが繋がる「絆」事業(再掲)	地域力推進室総務・防災担当	—————	平成 25 年度新規事業
			ハンサムレディー八重さんを募って…新島八重さんに関連するコース及び地図の作成とまち歩きの実施	地域力推進室総務・防災担当	—————	平成 25 年度新規事業
17	上七軒通, 小川通の無電柱化等の推進	上七軒通無電柱化完了後の交通量調査及びアンケートの実施 小川通詳細設計と工事の着手	建設局	上七軒通, 小川通の無電柱化等の推進	上七軒通の無電柱化の完了	
暮らしの中で環境に向き合うまち	18	エコまちステーションを拠点とした環境の取組の充実	ごみそのものを発生させないまちづくりの推進, 美化活動の支援やグリーンカーテン事業等を通じた「美しいまち上京」の推進	環境政策局	エコまちステーションを拠点とした環境の取組の充実	学区等主催イベントのエコ化の推進, 資源物回収品目の拡大, 臨時資源物回収等の実施, 環境施設見学会の実施
	19	「エコ学区」事業	各学区におけるエコの取組を支援	地球温暖化対策室	低炭素のモデル地区「エコ学区」事業の推進	「くらしの匠事業」の実施

4 重点取組の概要

上京区基本計画に基づき、区の個性を生かした魅力あふれるまちづくりを推進するために、上京区民まちづくり活動支援事業を含め、特に重点的に取り組むべき事項として以下のとおり取組を進めて参ります。

上京区民まちづくり活動支援事業

「絆で織りなす住みよいまち上京」を築くために区民の皆さんの自発的で主体的なまちづくり活動を応援するための事業

1 上京区民まちづくり活動支援事業（全所属）

「絆で織りなす住みよいまち上京」を築くために上京区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助金を通して、地域コミュニティの振興と区民参加によるパートナーシップのまちづくりを図ります。

〈取組目標〉

上京区まちづくり円卓会議及び上京区基本計画推進委員会の評価、選定の意見を踏まえ、平成25年度の提案事業を決定し、支援します。

〈前年度の取組成果〉

17件の申請があり、12件の提案事業を支援対象として決定し、支援しました。

テーマ1 多様な住民が地域活動を担うまち

年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず多様なひとびとが人権を尊重され、お互いに顔が見える関係を築き、多様な形で地域活動を支えているまち

2 上京ふれあいネット「カミング」活用事業（地域力推進室 総務・防災担当）

地域活動の活性化や地域と志縁団体の連携を強化を図るため、上京区の総合情報サイトとして、上京区内のイベント情報や各学区のイベント情報、学生レポートによる地域情報等の提供を行っています。

(1) 上京ふれあいネットカミングの充実

新鮮で役立つ情報を提供するため、より一層各学区やNPOなど各種団体から情報提供等の協力を得る方法を検討します。また、国内外で閲覧者の拡大が図れるよう、上京区の魅力を広く伝えるためのコンテンツ作成や情報発信を行います。

〈取組目標〉

各学区や上京区内で活動されている各種団体から情報提供等の協力を得るためのシステムづくりの検討や、上京区まちづくり円卓会議の各部会との連携により、上京区の情報のプラットフォームとして、区民の皆様や学生、観光に来られる方等多くの方に役立つコンテンツの作成を行います。

また、より地域に密着したサイトを目指し、大学、地域との連携を強化するとともに、学生による企画やレポート等、学生の興味を引くコンテンツの作成に取り組みます。

より多くの方に閲覧していただけるようフェイスブック等の活用を含めた情報発信の方法を工夫します。

〈前年度の取組成果〉

平成24年7月にホームページをリニューアルし、学生レポートの取材によるお役立ち情報や最新のイベント情報を新設するなど、コンテンツの充実を図りました。また、フェイスブックやツイッターといったSNSを活用した情報発信も始めました。さらに平成25年3月にもリニューアルを実施し、NPO等各種団体からより情報を得るため団体情報のページを追加しました。

(2) 若い人たちが繋がる「絆」事業

より地域に密着したサイトを目指すのと同時に、上京の情報サイト「カミング」を中心にして、若い人々と地域とを、また若い人たち同士を結び付ける事業を行います。

〈取組目標〉

交流イベントなどを企画し、若い人々と地域、若い人たち同士の交流の場を提供します。

〈前年度の取組成果〉

新規事業

3 上京区総合庁舎整備の推進（地域力推進室総務・防災担当，文化市民局）

旧上京区総合庁舎は，昭和12年の竣工から築74年が経過し，老朽化や狭あい化が著しく，バリアフリー化や利用者のプライバシーの確保が課題でした。また，保健センターが別庁舎となっているなど，区民の皆様にご不便をおかけしているため，区役所，福祉事務所，保健センターを統合し，より利用しやすい総合庁舎を目指して事業を進めます。

〈取組目標〉

新庁舎については，埋蔵文化財調査を経て，8月に建設工事に着手する予定です。その後，工事が順調に進めば，平成26年12月にしゅん工，平成27年1月に供用開始となる予定です。事業の実施に当たっては，市民しんぶん等を活用し，区民の皆様に事業の内容について，適宜お知らせしてまいります。

また，仮庁舎については，来庁者にご不便をかけることないよう，移転先等の周知に引き続き努めます。

〈前年度の取組成果〉

平成24年9月に仮庁舎への移転を完了，仮庁舎で業務を開始し，続いて旧庁舎の解体工事に着手しました。

また，整備事業の実施事業者を選定し，10月に実施契約を締結後，隔週で設計協議を開催し，平成25年3月末までに13回の協議を行いました。旧庁舎の解体工事は3月29日に完了しました。

テーマ2 住民が守る安心・安全のまち

ご町内での常日頃のあいさつやちょっとした気遣いで，誰もが安心して安全に暮らすことができるまち

4 烏丸今出川自転車対策プロジェクト事業（地域力推進室まちづくり推進担当）

放置自転車であふれ，歩行者特に高齢者や身体に障害のある方の通行の妨げになっている烏丸今出川交差点歩道を重点地域と位置付け，警察等の関係行政機関，地域団体，大学，大学生等で構成するプロジェクト会議（平成23年8月設置）で協議し，放置自転車の解消に向けた取組を行います。

〈取組目標〉

関係機関の連携強化を図るとともに，烏丸今出川自転車駐車場設置後における放置自転車の状況把握を行い，それに応じた取組を検討・実施します。

〈前年度の取組成果〉

現地における自転車放置防止活動の実施に加え，平成24年10月に自転車放置防止のための啓発ポスター等の掲示台を現地に設置し，啓発に役立てています。これに先立ち啓発ポスター等を広く募集し，優れた作品を表彰するとともに，応募されたポスターを順次現地に掲示しました。

また，烏丸今出川交差点北西部及び南西部に合せて57台が駐輪できる駐車場が整備され，平成25年3月22日から利用できるようになりました。

5 地域での災害時に備えた安心・安全の確保 ～上京区くらしの安心安全学区活動支援事業～

（地域力推進室総務・防災担当）

東日本大震災の発災を教訓として，「避難所運営マニュアル」の策定など地域での大規模災害時に備えた防災体制の強化が求められていることを受け，学区ごとの災害対策プロジェクトチームの立上げや，避難所運営訓練の実施など，防災体制の充実に取り組みます。また，この取組を促進するため，助言，指導等に関する補助制度を実施します。

〈取組目標〉

平成25年度末までに，区内の各学区において地域防災を担っていただく方々によるプロジェクトチームを立ち上げます。その後「避難所運営マニュアル」の策定を行い，それに基づく避難所運営訓練を平成26年度中に全ての学区で実施します。

〈前年度の取組成果〉

避難所運営に関する防災連続講座を，区内3ブロックで計3回実施しました。

また、平成24年12月に1学区で避難所運営マニュアルの策定についての説明会、平成25年2月にマニュアル策定の検討会を2回開催し、その後、3月に検討内容を検証する目的で避難所運営訓練を実施しました。その他、2月に2学区で、3月にも2学区で避難所運営マニュアルの策定について、説明会を実施しました。

6 みんなで空き家対策を考えよう事業（地域力推進室まちづくり推進担当）

京都市が進める空き家の適正管理及び活用促進等の事業を踏まえ、上京区内の空き家について地域と協働して対策を考えます。

〈取組目標〉

地域と協働して空き家の実態把握を行います。

〈前年度の取組成果〉

新規事業

7 京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業（建設局）

今出川通、烏丸通、丸太町通の京都御苑側の歩道は、通行量が多く自転車と歩行者との接触事故や側溝への転落事故の危険性が高いため、環境と景観に配慮した転落防止柵等の設置を行います。

〈取組目標〉

平成25年度は烏丸通の横断歩道部やバス停部（11箇所）について実施します。

〈前年度の取組成果〉

烏丸中立売、烏丸上長者町の交差点の横断歩道部において、転落防止柵等の設置を完了しました。

テーマ3 とともに喜び、支え合うまち

一人ひとりが住み慣れた地域でいきいきと活動しながら、相互に理解し合い、支え合って暮らし続けることができるまち

8 高齢者、障害のある方等支援を要する方の孤立を防ぐための地域コミュニティの構築

（福祉部支援保護課）

核家族化や生活スタイルの多様化などに伴い、地域のつながりが希薄化することで、支援を必要とする世帯が地域から孤立し、日常生活に支障をきたす恐れがあります。そこで、地域住民の方々とともに、地域の生活課題の早期発見や早期対応を行い、問題の深刻化を防ぐための地域づくりが求められています。行政や地域包括支援センター等専門機関、地域の皆様が一体となった支援体制の構築を目指します。

〈取組目標〉

見守り活動対象者名簿に登載された要支援者の方の支援方法について、関係機関と協働で具体的検討を行います。

そのために、地域の皆さんとともに、福祉に関する身近な話題を取り上げ、正しく理解していただくための講座（上京区ふくしをなんでもしっとこ講座）や交流会を開催し、区社会福祉協議会や地域団体の方々と連携して地域の方一人ひとりの顔が見える関係づくり、絆づくりを行います。

また、保健・医療・介護・福祉の関係機関の専門的知識の習得を目的に「上京区すこやかサポート研修会」を実施します。

〈前年度の取組成果〉

ふくしをなんでもしっとこ講座 3回開催

「認知症のことしっとこ」（7月15日）参加者数 約600名

「ワンダフルエイジング」（10月21日）参加者数 約300名

「災害・緊急・混乱・・・そのとき障害のある方は」（2月10日）参加者数 約700名

上京区すこやかサポート研修会 2回開催

「認知症の方への対応について」（12月2日）参加者68名

「高齢者虐待の対応について」（1月16日）参加者75名

9 子育て支援・育児不安の軽減（福祉部支援保護課）

少子高齢化や核家族化の急速な進行により、子どもや子育て家庭の抱える課題はますます複雑・多様化してきており、家庭内や地域における人と人との関係が希薄化している今日、子育ての不安や悩みを抱えながら孤立している子育て家庭が少なくありません。

(1) 「赤ちゃんお祝い訪問プロジェクト～上京えんじえる応援団事業」の充実

孤独な子育て家庭をなくす取組の推進が求められていることから、保健センターや子育てサロン等地域の子育て支援機関との連携のもとに、赤ちゃんの生まれたご家庭にお住まいの地域の主任児童委員によるお祝い訪問事業を実施しています。

〈取組目標〉

保健センターとの連携をより強化するとともに、ご家庭からの連絡方法を工夫するなどにより、主任児童委員がすべてのご家庭に訪問させていただけるよう取り組んでまいります。

〈前年度の取組成果〉

こんにちは赤ちゃん訪問者数（上京保健センター） 501件 ※23年度実績 181件
主任児童委員に赤ちゃんお祝い訪問数 155件 ※23年実績 23件
支援者に対する研修会の開催 7月19日、10月25日、1月30日（連続講座）

(2) 「すくすくステッカーで子育て支援」事業の実施

一人でも多くの子どもと親に、地域が身近な存在となる見守り体制の構築等が求められています。

平成24年度開始した子育て家庭をサポートする事業の趣旨に賛同いただいた地域住民の方や商店街の方々等にすくすくステッカーを貼付していただき、昔遊びの伝達やお誕生日ケーキ・おもちゃの割引など様々な方法で子育て家庭をサポートしていただく事業の協賛店舗・協力者の拡充や、上京えんじえる応援BOOKの充実をなどを通して、上京区全体で子どもがすくすく育つまちづくりを目指します。

〈取組目標〉

すくすくステッカーの協力者・協賛店舗の拡充
子育て支援シンポジウムの開催
「上京えんじえる応援BOOK」の充実

〈前年度の取組成果〉

平成24年9月29日 ステッカー事業協賛店舗、協力者募集
11月23日 ステッカー事業開始
(ステッカー、協賛店舗・協力者名簿、えんじえるカード配布開始)
平成25年3月末日現在 協力店舗・協力者数 142件
えんじえるカード配布数 8,800人

10 妊娠期からの子育て支援（児童虐待の未然防止）（保健部健康づくり推進課）

妊婦・家族への面接相談や初妊婦を対象とした家庭訪問、出産後の赤ちゃん訪問等により、妊娠期から出産・育児期まで切れ目のない子育て支援を行い、児童虐待の未然防止に努めます。この取組に加え、交流会を実施するなど顔の見える関係を維持しながら、その時々不安・悩みの相談に応じるとともに必要な情報提供を行います。

〈取組目標〉

母子健康手帳を交付した全ての妊婦・家族への面接相談
初妊婦への全戸家庭訪問
こんにちは赤ちゃん訪問
パパ・ママ教室、乳児交流会の開催等による交流の場づくり
ホームページや乳幼児健診など母子保健事業を通じた分かりやすい子育て情報の発信

〈前年度の取組成果〉

母子健康手帳交付時の全ての妊婦・家族への面接相談 581件
初妊婦への全戸家庭訪問 155件 ※対象者都合により訪問できない場合は
電話や出産後の訪問により全戸把握
こんにちは赤ちゃん訪問 501件
パパ・ママ教室参加者 145人
乳児交流会参加者 244組

乳児交流会の様子や母子保健事業をホームページに掲載するとともに、乳幼児健康診査時に子育て情報を提供しています。

11 若い頃からの健康づくりの推進（保健部健康づくり推進課・衛生課）

（1）大学と協働した健康づくり

学生が抱える健康に関する問題を予防、解決するため、同志社大学等と協働して、学生自身が健康情報を入手、整理し、活用する力の向上を目指した健康づくり活動を実施します。

〈取組目標〉

大学祭等大学イベントでの健康づくりの普及啓発（HIV・性感染症予防、食育、喫煙防止、薬物乱用防止等）の充実

大学訪問による感染症、食中毒予防の普及啓発

「学祭衛生管理マニュアル」を活用した学生に対する食中毒予防講習会の実施

〈前年度の取組成果〉

○ 同志社大学学生と協働した取組

・保健センターより提供した資料を基に学生が情報分析し、学生情報誌に健康情報「知っておこう！ HIV のこと」を作成、掲載。10月に学内に配架されました。

・11月に開催された大学祭において、学生主体の健康啓発ブースに保健センター職員が出向き、専門的立場から支援して協働開設し、約300名の利用がありました。

（大学祭啓発内容）

HIV・性感染症予防（個別相談、質問形式のパネル掲示、啓発物品配布）

喫煙防止（呼気中一酸化炭素濃度測定体験、パネル掲示、パンフレット配布）

薬物乱用防止（薬物見本展示、パネル掲示、パンフレット・啓発物品配布）

妊娠等に関する相談事業紹介

・「学祭衛生管理マニュアル」を活用して学生に対する食中毒予防講習会を実施しました。

○ 上京区の大学に対して、訪問による感染症、食中毒の予防普及啓発を実施しました。

（2）若い世代への生活習慣病予防の支援

生活習慣病は数十年をかけて形成される病気です。予防のために若い頃から健康づくりの習慣を身につけられるよう支援します。

健康に関する意識づけや知識の普及を図るため、各種健診や食品衛生講習会等の保健衛生事業や若い世代が集まる地域イベントの機会を活用するとともに、ホームページや保健センターニュース等により、わかりやすい健康づくり情報の提供や事業紹介を行います。

〈取組目標〉

わかりやすい健康づくり情報の発信や事業紹介（ホームページ・保健センターニュースの充実、青年期健診等各種検診の待ち時間の活用）を実施

地域イベントや保健衛生事業等での健康づくりに関する啓発の実施

健康づくりサポーター（地域で健康づくりに取り組むボランティア）との協働推進

〈前年度の取組成果〉

青年期健康診査 受診者数 201名

ホームページ、保健センターニュース、保健衛生事業等における、わかりやすい健康づくり情報や事業紹介の提供

各種健診の待ち時間を活用した健康づくりのDVD放映

ふれあいまつりの健康コーナーを設置し、医師会等関係機関と協働した健康づくりに関する啓発を実施

健康づくりサポーターと協働した乳がん自己検診法の普及啓発や高校生への防煙セミナーの実施

12 食の安全・安心の確保と食育の推進（保健部衛生課・健康づくり推進課）

食は日々の生活の基本となるものであり、食品等の安全性を確保し安心して食生活を営むことのできる環境を整備することが、健康を維持するために不可欠です。

食品衛生監視指導計画に基づき、食品取扱施設に対する監視指導を徹底します。

地域の集まり、会議、大学祭等に積極的に出向いてリーフレット配布や講習などを行うとともに、保健センター事業を通じた普及啓発を行い、区民の皆様が自主的な衛生管理に努められるように支援します。

食への関心を高め、健康的な食生活が確立できるように食育を推進します。

〈取組目標〉

- ・食品取扱施設への監視指導を行います。
- ・食品取扱施設、区民、大学生向けの食品衛生講習会を開催します。
大学祭従事者には「学祭衛生管理マニュアル」を活用します。
- ・地域イベント等で食品提供を行う際の衛生管理指導を行います。
- ・ホームページでの安心安全な食情報を提供します。
- ・食育指導員（食育をすすめるボランティア）の食育事業への参画等の活動を充実します。

〈前年度の取組成果〉

食品衛生講習会受講者 1046人

監視指導 2059件

食育指導員と協働し、保健センター事業「ふれあいファミリー食セミナー」や小学校での食育事業、また、市民の皆様が活用できる災害時のための食の蓄えや備蓄食材を使用したメニューなどの資料作成に取り組みました。

13 「子育て家族編 災害対策ミニブック」の普及・啓発（保健部健康づくり推進課）

出産が近い妊婦や乳幼児は災害等緊急時に自分の身を自分で守ることは困難です。普段から地域との交流を積極的に行うとともに、必要な準備をするなど、平常時からの備えが重要です。妊婦や乳幼児の保護者の声を反映した使いやすい普及啓発媒体が必要であり、24年度に作成した上京区版のパンフレットを活用し、妊婦・乳幼児の保護者、地域や関係機関に普及啓発を行い、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

〈取組目標〉

ホームページでの情報発信

母子保健事業（パパ・ママ教室、乳幼児健診、妊婦・赤ちゃん訪問等）を通じた普及啓発活動

「上京えんじえる応援団」を担当する福祉部門や地域での災害に備えた取組をしている防災担当と連携した普及啓発

地域で母子に関わる方や地域防災を担う方、関係機関（子育てサロン、児童館、保育園、幼稚園、児童養護施設、区社会福祉協議会、児童福祉センター等）への周知

〈前年度の取組成果〉

新規事業

14 上京区学生パワーを生かした福祉と健康のまちづくり事業（福祉部支援保護課）

平成25年度は同志社大学に8,000人の学生が増え、地域で生活をしていただくこととなります。そこで、同志社大学等と協働して、次世代を担う学生たちの企画で福祉と健康のまちづくりを推進します。

〈取組目標〉

「学生パワーと福祉」プロジェクトチームの公募（30名）

プロジェクト会議、福祉の課題に関する研修会の開催と子育てサロンや高齢者の居場所等への参画

「上京区学生パワーを生かした福祉と健康のまちづくり」シンポジウムの開催

〈前年度の取組成果〉

新規事業

テーマ4 文化と伝統を生かした賑わいのまち

これまで培ってきた歴史や文化が次代に引き継がれているだけでなく、大学等との連携によってチャレンジ精神に溢れた雰囲気があるまち

15 観光ボランティア（上京の語り部）の養成とまち歩きシナリオを活用したツアーの実施

（地域力推進室総務・防災担当）

上京区で培われた歴史と文化を分かりやすく解説する観光案内ボランティア「歩く語り部」の養成と、上京の魅力を探訪するまち歩きツアーを実施します。

〈取組目標〉

上京の各種団体や円卓会議の魅力発信部会と協働してまち歩きのスナリオを作成するとともに、そこで蓄積されたスナリオをもとに、上京の魅力を感じられるようなまち歩きツアーを実施します。また、まち歩きツアーを通して観光案内ボランティアの養成も行います。

〈前年度の取組成果〉

3月に出町と聚楽第をテーマにまち歩きを実施しました。

16 上京ふれあいネット「カミング」活用事業（地域力推進室総務・防災担当）

（1）上京ふれあいネットカミングの充実（再掲 p.6）

（2）若い人たちが繋がる「絆」事業（再掲 p.6）

（3）ハンサムレディー八重さんを募って…（地域力推進室総務・防災担当）

上京区と繋がり深い新島八重さんの魅力を発掘し、カミングで積極的に情報発信するとともに、まち歩きなどの事業を実施します。

〈取組目標〉

新島八重さんに関する情報について、カミングを活用した情報発信を行うとともに、コース及び地図の作成やまち歩き事業を実施します。

〈前年度の取組成果〉

新規事業

17 上七軒通、小川通の無電柱化等の推進（建設局）

京都らしい歴史的景観の保全・再生などを目的として、上七軒通及び小川通において事業を推進します。上七軒通は「上京北野界わい景観整備地区」として歴史的風致維持向上計画の認定を受け、また、小川通は「上京小川歴史的景観保全修景地区」内にあります。これら風雅で魅力的な景観を保全・再生するために無電柱化を進めます。

〈取組目標〉

上七軒通について、無電柱化事業完了後の交通量調査及びアンケートを実施します。

小川通については、引き続き詳細設計を行うとともに、一部工事に着手します。

〈前年度の取組成果〉

上七軒通では無電柱化事業を完了しました。小川通は詳細設計に向け、調整を行いました。

テーマ5 暮らしの中で環境に向き合うまち

「しまつ」の精神、「かど掃き」、「打ち水」など歴史に培われた凛とした暮らしが似合うまち

18 エコまちステーションを拠点とした環境の取組の充実（環境政策局循環型社会推進部）

平成22年4月に地域密着型の総合的な環境行政窓口として上京区役所内にエコまちステーションを設置しました。そのエコまちステーションを中心に、ごみの減量・分別の啓発を行い、可能な限り資源物を回収し、徹底してごみを減量することを目指します。ごみの減量には、子どもからお年寄りまでのあらゆる世代がごみの減量・リサイクルについて自ら考え、暮らしの中で実践できるよう取組を充実させていくことが必要であり、区民の皆様との連携を一層強化していきます。

更に、区役所（仮庁舎）において、区民の皆様と連携したエコ拠点化の取組を進めます。

〈取組目標〉

上京区基本計画の「暮らしの中で環境に向き合うまち」における、3つの方針のうち「ごみそのものを発生させないまちづくりの推進」と「美しいまち 上京の推進」を重点方針とし、区民の皆様を主役にした環境施策の取組を推進します。また、取組を通じて地域コミュニティの活性化に努めます。

1 ごみそのものを発生させないまちづくりの推進

区民の皆様が「しまつ」の心を大切にした京都流エコスタイルで、ごみ減量（発生抑制・再利用・再資源化）を重視した暮らしへ転換できるよう支援します。

2 美しいまち 上京の推進

上京区には毎朝の「かど掃き」や「打ち水」などの古き良き習慣が残っています。この習慣を次世代にも伝え、美しいまちで気持ち良く暮らせる取組を進めます。

①地域住民が主体となった美化活動支援（美化住民協定制度など）

②区民の皆様による「上京区花いっぱい運動」を拡大し、区役所仮庁舎でのグリーンカーテン事業を実施（上京区の新たなスポットとして魅力を発信）

〈前年度の取組成果〉

上京ふれあいまつりをはじめ、学区等主催イベントのエコ化の推進、資源物回収品目の拡大及び拠点の増設、臨時資源物回収等を実施。

主な事業内容	24年度	23年度	概要説明
使用済てんぷら油回収制度	245拠点	243拠点	地域での使用済てんぷら油回収の支援
コミュニティ回収制度	223団体	217団体	町内会やグループなどによる集団回収（古紙類・古着類）支援
資源物臨時回収	16回	4回	記憶媒体（CD、ビデオテープ等）・蛍光管・乾電池・インクカートリッジなどの回収
エコイベント登録	7件	10件	学区まつりなどでのエコ化推進・リユース食器の推進・ごみ分別
環境学習会	4回	5回	小学校や児童館で開催
環境施設見学会	12件	8件	環境施設見学を通じてごみ問題に関心を持ってもらう機会の提供
転入者案内	500件	297件	京都市に転入された方へごみの出し方や分別、リサイクルに関する案内

エコまちステーションを拠点とし、ごみの減量及び分別に関する相談を初め、既存の使用済てんぷら油回収、コミュニティ回収制度を中心に支援を行い、拠点数を増加させました。さらに、各学区まつり、地域要望等に応じた臨時資源物回収も前年度より回数が増えました。

また、環境施設見学会は前年度より実施回数が増え、環境や環境問題に対する興味・関心を高め、暮らしに身近なごみ問題を見つめ直す機会を多くの区民の皆様へ提供できました。

地域イベントへの参加回数も増え、市民しんぶん区民版に毎月啓発記事を掲載するなど区民の皆様への啓発も充実を図りました。

19 「エコ学区」事業（環境政策局地球温暖化対策室）

平成23年度から2箇年にわたり実施したモデル学区での成果・課題を踏まえ、平成27年度までに市内全学区においてエコ活動の実践が広がるよう支援することにより、ライフスタイルの転換と増加傾向にある家庭部門での温室効果ガス排出量削減を、地域ぐるみで効果的に実現できるよう取組を進めます。

〈取組目標〉

平成27年度までに区内すべての学区においてエコの取組が実践されるよう支援します。

〈前年度の取組成果〉

○平成23年度

上京区からは春日学区が低炭素のモデル地区「エコ学区」として認証されました。

○平成24年度

春日学区において「匠」と呼ばれる環境ボランティアの指導のもと、環境にやさしい暮らしを実践する「くらしの匠事業」としてミニケアサロンを活用した「ミニ匠集会」の開催や、「匠バスツアー（京エコロジーセンター）」などを実施しました。

5 その他の重要取組

○ 市民満足度向上会議の開催

区民の皆様にご満足いただける応対等について取り組むため、庁内横断的なプロジェクトチーム（市民満足度向上会議）で検討を行います。平成24年度は、区役所業務のさらなる発信のための「イベントの案内の掲出」や、職員の応対能力向上を目的とした「各課業務の研修会の開催」を企画し、近日中に実施を予定しています。また、仮庁舎への移転に伴い、「セルフチェックシート」の改訂も行いました。平成25年度の取組につきましては、今後の会議で検討し実施していくこととしております。

<取組目標>

単なる市民サービスの向上にとどまらず、市民の皆様にご満足いただけるサービスの向上を目指します。

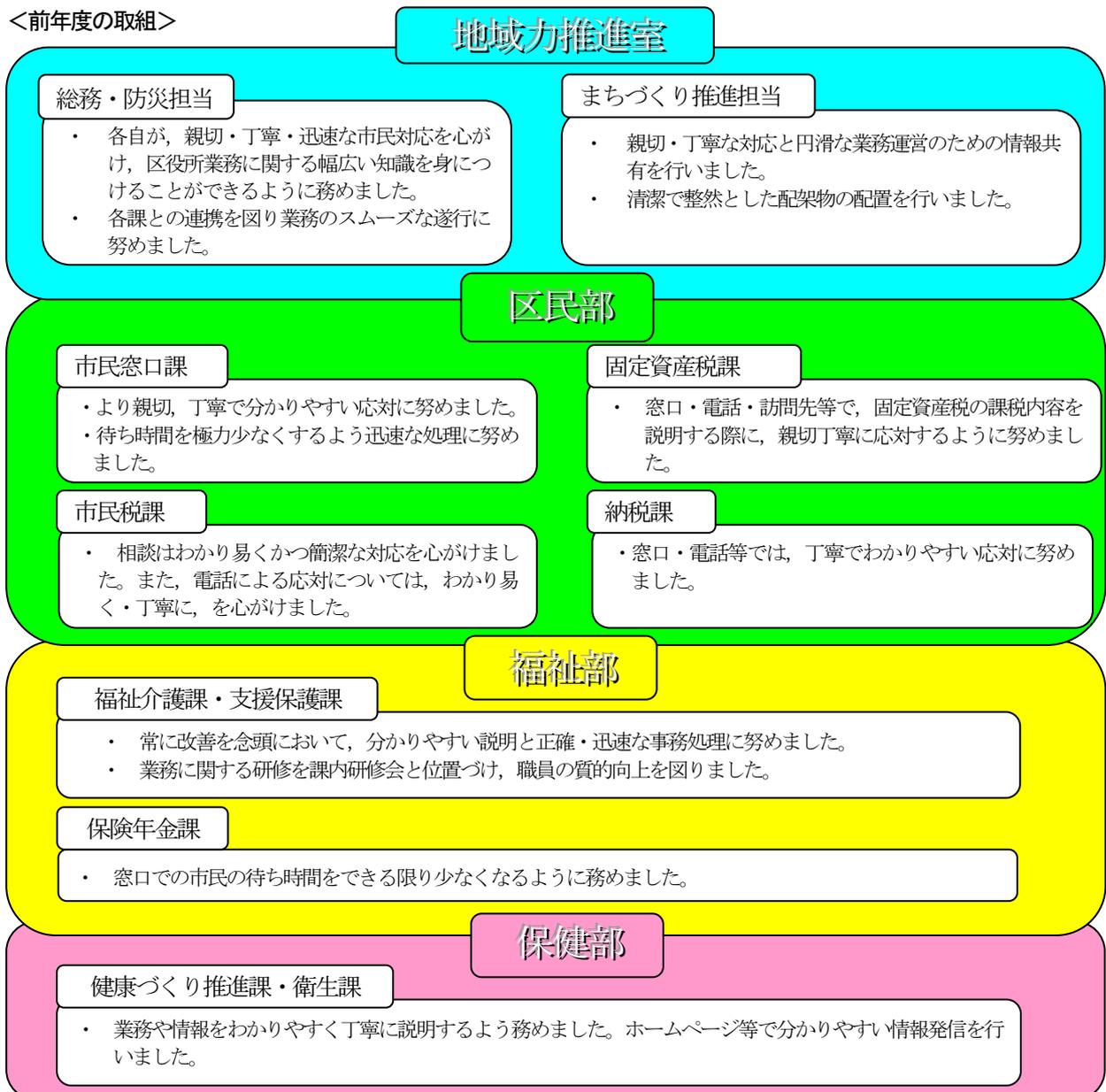
<前年度の取組>

イベントの案内の掲出及び各課業務の研修会の開催の企画、市民満足度ニュースの発行、「セルフチェックシート」の改訂など

○ 区民サービス向上に係る各所属における取組（“きょうかん”プロジェクト）

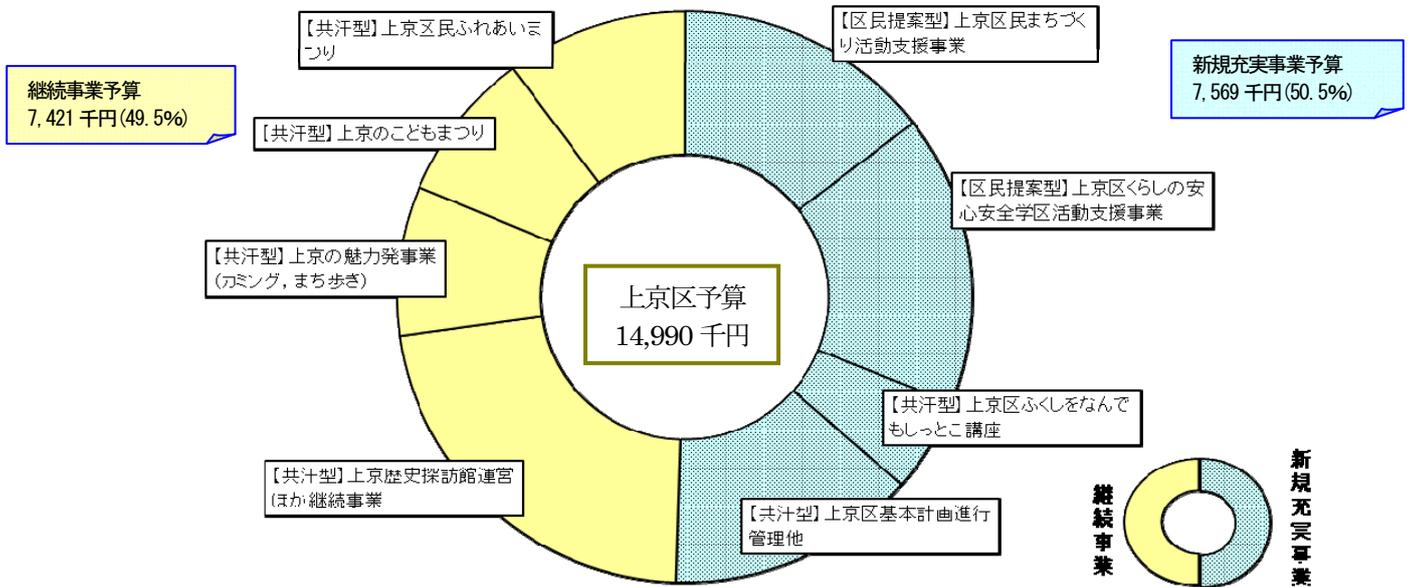
区民に信頼される区役所づくりのために、全職場において全職員参加によるきょうかんプロジェクトを実施し、職場や市全体が抱える様々な課題等について積極的に議論し、区民の目線に立った課題の改善に取り組めます。平成25年度の取り組みのうち、優れたものについては1月末頃に区ホームページにおいて公表します。

<前年度の取組>



6 予算のポイント

平成25年度区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算



予算の特徴

京都の誇る地域力と創造力を活かした予算システムである「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算』」を最大限に活かした予算としました。

区民提案型支援事業である「上京区民まちづくり活動支援事業」及び「上京くらしの安心安全学区活動支援事業」には、平成24年度の実績を踏まえ、全体の31.1%に当たる4,660千円の予算を充てました。

共汗型事業18事業のうち7事業(全体予算の28.2%)が新規または充実事業で、より区民の皆様のニーズに合った事業を実施するための予算としています。

重点取組・重要事業の予算額

(☆印は新規または充実事業です。)

1	☆	区民提案型支援事業の推進	2,185	12	食の安全・安心の確保と食育の推進	—	
2	☆	上京ふれあいネット事業(カミング・絆)	980	13	「子育て家族編 災害対策ミニブック」の普及啓発	—	
3		上京区総合庁舎整備の推進(局予算)	1,254,394	14	☆	上京区学生パワーを活かした福祉と健康のまちづくり	300
4		烏丸今出川自転車対策プロジェクト事業	200	15		観光ボランティア(上京の語り部)の養成とまち歩きシナリオを活用したツアーの実施	470
5	☆	地域での災害時に備えた安心・安全の確保	2,475	16	☆	上京ふれあいネット事業(ハンサムレディー八重さんを募って)	150
6	☆	みんなで空き家対策を考えよう事業	300	17		上七軒通, 小川通の無電柱化等の推進(局予算)	82,500
7		京都御苑周辺道路の歩行空間改善事業(局予算)	21,000	18		エコまちステーションを拠点とした環境の取組の充実	—
8	☆	高齢者, 障害のある方等支援を要する方の孤立を防ぐための地域コミュニティの構築	800	19		「エコ学区」事業	—
9		子育て支援・育児不安の軽減	500				
10		妊娠期からの子育て支援(児童虐待の未然防止)	—				
11		若い頃からの健康づくりの推進	—				

7 平成25年度の主な取組

- 上京区民スポーツの集い（まちづくり推進担当）
- 上京区民ふれあいまつり2013（まちづくり推進担当）
- 憲法月間「映画のつどい」（まちづくり推進担当）
- 上京区講演のつどい（まちづくり推進担当）
- 市民憲章推進者表彰（まちづくり推進担当）
- 上京交通安全フェスティバル（まちづくり推進担当）
- 敬老記念品お祝い訪問事業の実施（支援保護課）
- 上京の子どもまつり2013（福祉介護課・支援保護課）
- 障害のある方の就労を支援するため、職場実習の受入れ（支援保護課）
- 上京こころのふれあいネットワークの推進（健康づくり推進課）
- 健康づくりサポーター養成講座（健康づくり推進課）
- 上京区民ふれあい文化大学（まちづくり推進担当）
- 上京茶会（まちづくり推進担当）
- 上京薪能（まちづくり推進担当）
- 上京区歴史探訪館運営事業（総務・防災担当）
- 京の七夕事業（産業観光局）
- 上京リサイクルステーション及び区役所等での資源物回収の拡大（環境政策局）



上京区民ふれあいまつり



上京区民ふれあい文化大学



上京歴史探訪館運営事業

京 上京

平成25年度上京区運営方針についての区民の皆様からの
御意見・御提案をお待ちしております。

上京区役所地域力推進室総務・防災担当

電話 075-441-5029

FAX 075-432-0566

URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyo/>

平成25年4月発行



～語り部と歩く1200年～